

全国中心市街地活性化 まちづくり連絡会議

第17回 総会

日時：2023年7月18日（火） 13:30～14:15

場所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）

※オンライン（Teams）配信あり

全国中心市街活性化まちづくり連絡会議 第17回 総会

次第

1.会長挨拶

豊田まちづくり株式会社
代表取締役 河木照雄

2-1.議案【報告事項】

参与会員退会の件

2-2.議案【決議事項】

第1号議案

令和4年度事業報告
並びに収支決算書の件

第2号議案

令和5年度事業計画（案）
並びに収支予算（案）の件

第3号議案

令和5年度役員選任の件

3.その他報告事項

- (1) 令和5年度幹事会会社の紹介
- (2) 令和5年度新会員の紹介
- (3) 会員アンケートについて（お願い）

1. 会長挨拶

豊田まちづくり株式会社
代表取締役 河木照雄

会長より第17回総会の開催に向けて挨拶をいただきました。
近年、コロナ禍により十分な活動ができなかった当団体の再スタートに向けた意気込みなどを頂戴いたしました。

なお、規約第7条2項により、総会の議長を河木会長に務めていただきました。



2-1. 議案【報告事項】

参与会員退会の件

議長より参与会員退会の件について報告がありました。会員からの異議申し立てなく、議案は可決されました。

【概要】

会員規約第10条に定める参与会員の大会について

(退会参与会員)

公益財団法人区画整備促進機構

(資料1)

【報告事項】
参与会員退会の件

会規約第10条に定める参与会員 公益財団法人区画整理促進機構は、本総会終結時をもって、退会いたします。

参与会員 公益財団法人区画整理促進機構
理事長 小前 繁
東京都千代田区二番町12番地12 B.D.Aビル2階

2-2. 議案【決議事項】

第1号議案

令和4年度事業報告並びに収支決算書の件

事務局より令和4年度事業報告並びに収支決算書についての説明がされました。

また、収支決算書においては、監事の小樽駅前ビル株式会社 専務取締役 山田厚氏より監査結果の報告がされました。
議長より審議が諮られ、異議申し立てなく議案は可決されました。

【概要】

《活動内容》

- ・第16回総会（令和4年3月14日（火））
- ・当会ホームページによる情報発信
- ・相談室の活用 ほか

《収支報告》

- ・令和4年度は会費徴収なし

(資料2)

第1号議案

全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議

令和4年度事業報告

1. 中心市街地活性化に係る情報共有、ノウハウの蓄積

(1) 総会の開催

第16回総会（開催地：東京都、オンライン配信）令和4年3月14日（火）

（主な実施内容）

- ・令和3年度事業報告及び決算の承認
- ・令和4年度事業計画の休止並びに会費徴収免除の承認
- ・令和4年度役員選出の承認
- ・会規約改正の承認

(2) 情報掲示板等による情報発信

当まちづくり連絡会議のホームページにより当会議の紹介、会員の掲示板、勉強会開催結果、支援制度の紹介等を掲示し、当会議の会員外への紹介、会員同士の情報交換の促進をはかった。併せて全国のまちづくりに係る情報をメールにて配信・紹介した。

2. 相談室の活用

- (1) 都市再生機構全国まちづくり支援室において、まちづくり手法等の相談を受け付け、会員会社等から個別相談を受けた。
- (2) 民間都市開発推進機構中心市街地活性化支援室において、出融資等に関する相談を行い、会員会社等から個別相談を受けた。
- (3) 全国市街地再開発協会プロジェクト業務部において、再開発・街なか居住再生ファンド等の相談を行い、会員会社等から個別相談を受けた。
- (4) 区画整理促進機構企画部において、区画整理事業活用等の相談を行い、会員会社等から個別相談を受けた。

以上

第1号議案

令和4年度事業報告 並びに収支決算書の件



第1号議案

総会資料

(資料2)

全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議

令和4年度収支決算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1. 会費

会員数	49社	賛助会員数	4社	参与会員数	4社
会費	0円/社	賛助会費	0円/社	参与会費	0円/社

2. 収支決算

単位：円

項目	令和4年度 実績	備考
収入	利子	28
	前年度繰越金	3,349,110
	合計	3,349,138 ①
支出	事業費	100,880 勉強会講師料100,880円
	広報費	18,828 HP維持費6,288円、HP更新12,540円
	事務費	880 残高証明書880円
	合計	120,588 ②
繰越金	3,228,550	(①-②)

監査の結果、上記相違ないことを認める。

令和5年6月28日

監事

小樽駅前ビル株式会社
専務取締役 山田 厚



監事

株式会社まちづくり会津
代表取締役 澁川 恵男



第2号議案

令和5年度事業計画（案）並びに 収支予算（案）の件

事務局より令和5年度事業計画案と収支予算案の説明がされました。議長より審議に諮られ、会員からの異議申し立てなく議案は可決されました。

【概要】

◀事業計画ポイント▶

- ・会員それぞれに課題が異なるため、少数参加型の個別テーマによる勉強会を開催。
- ・有識者による基調講演やパネルディスカッションの開催
- ・国等からの情報提供
- ・次世代を担う若手の育成とネットワークの強化。
- ・会員アンケート実施による情報整理 など

◀収支予算ポイント▶

※別紙のとおり

(資料3)

第2号議案

令和5年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の件

全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議
令和5年度事業計画(案)

目的	まちづくり三法の改正により、中心市街地のまちづくりを進める重要な主体として位置付けられた、まちづくり会社及び中心市街地整備推進機構並びに都市再生推進法人等が、情報交流を行い民間主体による中心市街地の再生とコンパクトなまちづくりを促進することを目的とする。
事業方針	1. 中心市街地活性化に係る情報共有、ノウハウの蓄積 (1) 勉強会の開催 【目的】 これまでの先進事例の視察や講演等を中心とする活動については至っていない。一因として、会員のそれぞれの成り立ちや目的、基幹事業や地域特性等に違いがあり、統一した課題設定が困難であることが考えられる。今年度は会員個々の課題解決や事業に参考となるよう、少数参加型の個別テーマによる勉強会を設定し、学びの機会の創出や情報交換・交流等、課題解決につながる気づきやヒントを得られるよう本連絡会議として一層貢献する。 【実施案】 ○今年度は総会の開催にあわせて第30回勉強会としてハイブリッド型で実施する。 「これからの中心市街地活性化に向け、まちづくり会社に求められるもの」をテーマに有識者による基調講演、並びに本連絡会議の正副会長によるパネルディスカッション形式で、中活を考えるうえでのポイントについて討議し、会員間の意見交換及び国等からの情報提供を得る。

- さらに今年度は分野別にテーマを設定し、主催者（会員会社）の事業紹介やノウハウの提供の場など、少数参加型で課題解決に向けた勉強会を開催する。
- 勉強会には、次世代を担う若手や、地方自治体及び商工会議所等の参加も促し官民連携の促進やネットワークづくりを強化する。
- 会員アンケートを実施し、組織・事業特性や主な課題等を把握し、今後の具体的な活動に向け情報整理を行う。

(2) 情報掲示板等相互情報連絡機能の拡充

会員相互間の連絡や提案、情報交換などを促進させるようホームページの更なる拡充等を行う。

- ・会員相互の連絡や提案、情報交換など
- ・中活認定の最新情報、国交省からのお知らせなど
- ・都市再生機構、民都機構、再開発協会、区画整理促進機構、賛助会員からのお知らせなど

2. 国への要望事項検討

会員の中心市街地活性化に関する意見が、要望としてまとまった場合、次回の総会にて採択を行い、代表者が国交省等に要望書を提出する。

3. 相談室の継続実施

- (1) 都市再生機構全国まちづくり支援室において、令和4年度に引き続き、まちづくり手法等の相談対応を行う。
- (2) 民間都市開発推進機構中心市街地活性化支援室において、令和4年度に引き続き、出融資等に関する相談対応を行う。
- (3) 全国市街地再開発協会において、令和4年度に引き続き、再開発等にかかる計画策定や費用便益分析等の調査受託や借入金債務保証による相談対応を行う。

(資料3)

第2号議案

令和5年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の件

全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議
令和5年度収支予算書(案)
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

単位：円

	項目	令和5年度予算額	前年度実績額	備考
収入	会員	312,000	0	6,000円×52社(退会1、入会4)
	小計	312,000	0	
	利子	0	28	
	雑収入	0	0	
	前年度繰越金	3,228,550	3,349,110	
	合計	3,540,550	3,349,138	①
支出	調査研究費	50,000	0	アンケート実施等
	事業費	450,000	100,880	総会等会場250千円 勉強会100千円*1 分野別勉強会100千円
	広報費	60,000	18,828	HP維持費10千円、更新50千円
	事務費	50,000	880	事務局経費
	予備費	50,000	0	
	合計	660,000	120,588	②
	次期繰越金	2,880,550	3,228,550	①-②

第3号議案

令和5年度役員選任の件

令和5年度役員選任の件について、議長より立候補の有無の確認がありました。
立候補が無かったため、事務局より事務局案が説明されました。議長により審議に諮られ、会員からの異議申し立てなく議案は可決されました。

(資料4)

第3号議案 令和5年度役員選出の件

全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議
令和5年度役員候補一覧(案)

- 会 長 豊田まちづくり株式会社
代表取締役 河木 照雄(カワキ テルオ)
- 副会長 株式会社まちづくり佐久
代表取締役社長 阿部 眞一(アベ シンイチ)
- 副会長 まちづくり福井株式会社
会 長 岩崎 正夫(イワサキ マサオ)
- 監 事 小樽駅前ビル株式会社
専務取締役 山田 厚(ヤマダ アツシ)
- 監 事 株式会社まちづくり会津
代表取締役 澁川 恵男(シブカワ トモオ)

(敬称略)

3.その他報告事項

事務局より（１）令和5年度幹事会会社の紹介、（２）令和5年度新会員の紹介、（３）会員アンケートについての3つの説明がありました。

会員アンケートについては、今後の当会の事業計画と目的達成のため、後日改めて会員の皆様にアンケート協力の依頼をさせていただく旨の説明がありました。

(資料5)

3. その他報告事項

(1) 令和5年度幹事会会社のご紹介

- ①株式会社楽市白河
代表取締役 藤田 龍文 (ふじた たつふみ)
- ②株式会社金沢商業活性化センター
代表取締役 嶋浦 雄峰 (しまうら たけお)
- ③たじみDMO(一般社団法人多治見市観光協会)
理事長 松島 祥久 (まつしま よしひさ)
- ④長浜まちづくり株式会社
代表取締役 大塚 敬一郎 (おおつか けいいちろう)
- ⑤株式会社大分まちなか倶楽部
代表取締役 仲摩 和雄 (なかま かずお)

以上、順不同・敬称略

(2) 令和5年度新会員のご紹介

- ①山形まちづくり株式会社
代表取締役 結城 康三 (ゆうき やすぞう)

主な事業 遊休不動産再生事業、新規創業者の発掘・人材育成事業、
コンサルティング事業、山形アーカイブ事業ほか
住 所 山形県山形市七日市1-1-1 〒990-0042
連絡先 常務取締役 下田 孝志
電 話 023-631-6368 e-mail shimoda@yamagata-machizukuri.jp

- ②株式会社カクギン
代表取締役 鈴木 裕士 (すずき ひろし)

主な事業 市立病院売店運営、イベント企画運営、規格外農産物を使用
した飲食物の製造販売事業ほか
住 所 山形県鶴岡市本町1丁目4番23号 〒997-0034
連絡先 代表取締役 鈴木 裕士
電 話 0235-22-2202 e-mail hiroshi_s@kakugin.com

- ③富士山まちづくり株式会社
代表取締役 佐野 荘一 (さの そういち)

主な事業 NPO中間支援、調査・コンサルティング事業、リノベ
ーション事業ほか
住 所 静岡県富士市吉原2丁目11-8 〒417-0051
連絡先 代表取締役 佐野 荘一
電 話 0545-67-1223 e-mail sanosol@mac.com

- ④一般社団法人TCCM
代表理事 河木 照雄 (かわき てるお)

主な事業 中心市街地のエリアマネジメント事業、公共空間・施設、
空き床・空き店舗等の活用やリノベーション事業、まちな
か宣伝会議の運営、来街促進や賑わい創出事業ほか
住 所 愛知県豊田市西町1-200 豊田参合館1階 〒471-0025
連絡先 常任顧問 杉本 恭一
電 話 0565-47-7007 e-mail tmkyoichi@gmail.com

以上、順不同・敬称略

(3) 会員アンケートについて (お願い)